

2024年1月4日

【BS12 トゥエルビ】

ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社

2024年 年頭の辞

ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社 代表取締役社長 降旗邦義による全役職員向け
「2024年 年頭の辞」を下記の通りお知らせ致します。

記

新年あけましておめでとうございます。

本年1月1日付で当社代表取締役社長となりました降旗邦義です。私はこれまで様々な事業に携わってきましたが、新たな業界の仕事を始める時はいつもわくわくした気持ちを持つものです。そして今まさにそのわくわくを実感しています。同日付での一部改組や人事発令もあり、みなさまと共に、新たな体制、新たな気持ちで当社を盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

昨年を振り返りますと、コロナ収束が期待されつつも、多くの制限が残る中でのスタートでした。ウクライナ情勢は混迷を深め、ハマスによるイスラエル攻撃に端を発した中東情勢も予断を許さない状況です。トルコ・シリアやモロッコでの大地震、ハワイの山火事等の自然災に言葉を失うこともありました。一方で、5月の5類移行を経てコロナは収束へ向かい、インバウンド観光客数もコロナ前の水準を取り戻し、待ちに待った活気が4年振りに戻って参りました。また昨年は野球が嘗てないほど元気をくれた年でした。夏の甲子園の盛り上がりや、言うまでもなく38年振りのアレがあり、そしてなんとといっても14年振りの侍ジャパンのWBC優勝が日本を元気にしてくれました。

当社においては、4年間当社をリードされた須磨社長の下、あり姿実現に向けた体制構築や「元気」「らしさ」をテーマとしたアクションが進んだ年でもあり、編成では、プロ野球交流戦やオリジナル番組、ゴジラ・カメラや松田優作シリーズ、定番となったアジアドラマなど、視聴者の心のツボに寄り添いながら視聴者も拡大。番組とメタバースやポッドキャストとの連携などにより、更に我々の思いを届けられる範囲が拡大しました。それらの付加価値を確りとクライアントの皆様理解頂いており、今期も業績面で好調を維持しております。本日から始まる新体制で、この動きを更に加速し、あり姿実現に向かって一致団結して進んでいきましょう。

最後に私が大切に考えていることをお伝えしたいと思います。仕事をするうえで一番大切なのは「モチベーション」だと考えています。スポーツでいえば試合に出たい、勝ちたいという思いがあればそのための練習を頑張る気持ちになれるものです。そして、そのモチベーションは誰かが与えてくれるものではなく、自ら見つけるものだというのが私の思いです。英国のことわざで「馬を水辺につれていくことはできても、水を飲ませることはできない」というのがあります。会社や組織はメンバーがモチベーションを高く持てる環境をできる限り整えていかなければなりません。最後に自分の力を出し切れるかどうかは自分の気持ち次第です。私自身もこの思いを忘れず、皆さまと共に実りある年になりますよう祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

以上